

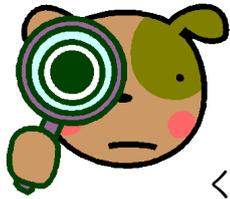
木葉小便り

令和6年2月22日(木)発行
文責 校長 吉野 新吾



校内持久走大会(2/8)

「協働的な学び」をめざして!



2月7日(水)木葉小がめざす授業の検証のために、3年生の算数の研究授業(授業者:南教諭)を行いました。みんなで取り組んできた本年度最後の研究授業でした。木葉小では、先生や友達からいろんな知識やヒントを得て、次第によく分かってきたり、うまく解決できたりする授業=“人と関わり合っ、お互いに助け合いながら学ぶ姿”をめざしています。社会の中で仕事をするとき、いつも1人でやっているわけではありません。発言して話し合っ理解したり、相談して問題を解決したりすることが多いのではないのでしょうか。将来に生きる力として、協働性を育成するための「協働的な学び」をめざすのです。



みんなと学ぶ



友達と学ぶ



先生から学ぶ

「みんなと学ぶ」「友達と学ぶ」「先生から学ぶ」姿が散りばめられた、来年度につながる素晴らしい3年生の授業でした。

子供たちの姿で評価される学校に

“地域と共にある木葉小学校”をめざし、保護者や地域の皆様に子供たちの学びの姿をご覧いただきたく、学習発表会(2月16日)を実施しました。囑託員配付日の日程の関係もあり、地区ごとのチラシの回覧が遅れたことをお詫びいたします。



そんな中、2月20日の熊本日日新聞で下の記事を発見しました。「子供たちの姿」を評価していただいたものと感謝しています。もちろん職員の指導があることも忘れてはいけません。

元気もらった木葉小の発表会

16日に孫3人が通っている木葉小の学習発表会を見学しました。学年別にダンスを披露したり、修学旅行の感想や水俣病について学習したことなどを子どもたちが発表したりしたのですが、みんな明るく元気よく頑張る姿が伝わって、とても感動的でした。木葉小にはウクライナから避難している男の子もいて一緒に平和への思いも発表していました。最後に全員で感謝の気持ちを込めた歌を合唱して締めくくりました。教頭先生の



熱のこもった講評にも感動しました。毎日暗いニュースが続きますが、子どもたちからパワーをもらった思いがします。=玉東町、主婦、79

校長として、1つ1つの行事の度に「何か 木葉小って すごいな!」と感じさせてもらいます。発表会の様子は、木葉小学校のHPをご覧ください。どなたでも見るができます。



感謝の気持ちを込めた歌の合唱